

第 2 次村上市環境基本計画
令和 4 年度 進捗状況報告書

令和 5 年 12 月
新潟県村上市

1. 第2次村上市環境基本計画の目指すもの

平成23年3月に策定した「第1次村上市環境基本計画」では、「山・川・海 豊かな自然に育まれた歴史と伝統を継承するまち」を望ましい環境像として掲げ、環境の保全及び創造に関する施策に取り組んでまいりました。

新しく令和3年3月に策定した「第2次村上市環境基本計画」では、市の豊かな環境を将来世代へと継承していくことを念頭に、近年の気候変動や地球温暖化、脱炭素社会に向けた取組など環境問題に関する社会情勢の変化に対応するとともに、本市における環境問題の解決や将来に向けた環境施策の更なる推進を図ることで、環境像「豊かな自然と調和しながら発展して共生する循環共生型社会のまち」の実現を目指します。

2. 計画の期間

計画期間は、令和3年度（2021年度）から12年度（2030年度）までの10年間です。

また、経済社会情勢の変化や新たな環境問題の解決に対しても柔軟に対応するため、期間の中間年度において見直しを行い、必要に応じて計画を修正します。

3. 環境基本計画の具体的な展開

本計画では、目指す環境像の実現に向け、「自然環境」「循環共生」「地球温暖化」「文化景観」「教育協働」という5つの基本目標を掲げ、各環境施策がSDGsの17の目標達成に貢献できるよう、施策の方向性を定めています。

そして、本計画の実効性を高めるため、毎年度、計画の進行管理を行い、環境指標および環境施策について点検・評価を行うこととします。

4. 令和4年度進捗状況報告

（1）環境指標の進捗状況

環境指標の進捗状況については、関係各課から実績値を求め、昨年度の実績値や計画目標値と比較し、「別紙1 令和4年度環境基本計画環境指標の進捗状況」にまとめました。

なお、環境指標の進捗について数値の増減と指標の進捗との相関が分かりやすくなるよう、指標の進捗状況の表記を見直しました。詳細については「別紙3 第2次環境基本計画の評価基準の見直しについて」の「1 環境指標進捗状況の表記の見直し」をご覧ください。

令和4年度は「目標達成」の指標が13、「前進」が7、「後退」が6、「未実施」が2となりました。

(2) 環境施策

令和4年度の環境施策の達成状況について、各課に点検・評価を求めました。

なお、環境施策の評価基準については、基準が不明瞭で、客観的な評価ができていない状態が続いていたため、今回評価基準の見直しを行いました。詳細については「別紙3 第2次環境基本計画の評価基準の見直しについて」の「2 環境施策進捗評価基準の見直し」をご覧ください。

令和4年度の実施状況と新しい評価基準に基づく評価結果、「別紙2 令和4年度 環境基本計画環境施策の評価一覧」にまとめ、評価の集計結果を表1に示します。

また、参考として令和3年度の実施状況を新しい評価基準で再評価した結果を参考資料の右端の欄、集計結果を本ページ下部に表として示します。

令和4年度は、コロナ禍の影響が徐々に収まり、施策の推進の向上が見られたA評価が増えた一方で、8月豪雨の影響で体験型イベントなどの中止や復興事業を優先したため実施できなかった施策などC評価も見られました。

表1 令和4年度環境施策評価の集計結果

基本目標	令和4年度 評価集計			
	A	B	C	合計
1 市の自然豊かな環境の後世への継承	29	3	5	37
2 持続可能な循環共生型の社会	58	2	11	71
3 地球規模の気候変動等を意識した環境対策の展開	35	0	8	43
4 歴史・伝統と美しい自然を活かした景観づくり	16	0	1	17
5 市民や産業とともに発展する環境づくり	19	0	6	25
合計	157	5	31	193
割合	81.3%	2.6%	16.1%	100%

参考 令和3年度環境施策評価の再評価集計結果

基本目標	令和3年度 評価集計			
	A	B	C	合計
1 市の自然豊かな環境の後世への継承	30	3	4	37
2 持続可能な循環共生型の社会	50	1	20	71
3 地球規模の気候変動等を意識した環境対策の展開	23	1	19	43
4 歴史・伝統と美しい自然を活かした景観づくり	16	0	1	17
5 市民や産業とともに発展する環境づくり	15	0	10	25
合計	134	5	54	193
割合	69.4%	2.6%	28.0%	100%